

## 議員提出議案の概要及び処理結果

9月定例会では、意見書5件、要請決議等2件が提出されました。その要旨と議決結果は次のとおりとなっております。

なお、可決された意見書等については、その趣旨の実現へ向けた速やかな対応を求めため、直訴要請及び、関係省庁へ送付しております。

### 八重山会館（仮称）設置に対する支援、協力を求める意見書

提出者 石川 勇作

沖縄本島から400キロ以上も離れた石垣市及び八重山圏域において、離島格差是正は大きな課題であります。しかしながら、沖縄本島へ移動する交通手段は航空路線のみであり、また、LCCもなかなか定着せず、航空運賃が家計を圧迫しております。

とくに、石垣市内の病院では治療ができず、沖縄本島へ通院せざるを得ない難病患者やその家族、また文化活動やスポーツ大会等に

参加する児童生徒など、多くの石垣市民及び、八重山郡民が渡航費や宿泊費の負担で多額の出費を強いられています。

さらに近年では、観光客増加の影響や各種イベント、スポーツキャンプ時期などには、宿泊費が高騰したうえ満室で予約が取れない状況も発生しております。

そこで、市民及び郡民が安心して渡航滞在でき、宿泊費の負担軽減を図るべく、那覇市内または、那覇空港周辺に宿泊施設を完備した「八重山会館」の設置が計画され、多くの市民及び郡民が八重山会館の設置を熱望



新里米吉沖縄県議会議長に要請する様子

しております。

よって、当市議会は市民及び郡民の宿泊費の負担軽減を図るべく、那覇市内及び那覇空港周辺に八重山会館設置するため、県有地の優先的な提供や、沖縄振興一括交付金の活用など、沖縄県の支援と協力を強く要請いたします。

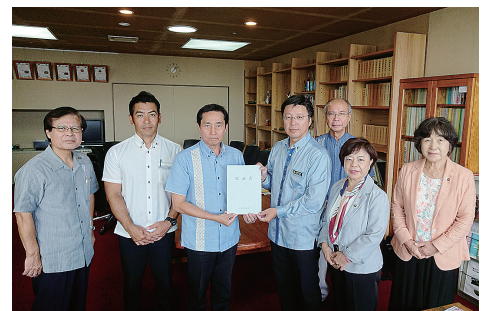
○提出先 沖縄県知事、沖縄県議会議長、地元選出県議会議員

（結果） 全会一致で可決

### イネ科を食害する害虫「ツマジロクサヨトウ」の防除等を求める意見書

提出者 井上 美智子

もともと北米大陸に生息するといわれていた害虫「ツマジロクサヨトウ」が、ここ石垣島にも生息していることが、令和元年8月28日にサトウキビ畑で13匹、畑で7匹確認されました。「ツマジロクサヨトウ」の被害は、サトウキビ、緑肥用ソルガムだけでなく、全ての稲科の作物にも被害が



長嶺豊沖縄県農林水産部長へ意見書を手交する石垣市議団

拡大することが更に懸念されます。

国内では令和元年7月に鹿児島県で初めて確認されて以来、九州全域に広がり、東北地方の福島県でも確認されており、県内では恩納村の飼料用トウモロコシ畑で幼虫が確認され、多良間村、八重瀬町、宮古島市でも確認されています。このことから沖縄のサトウキビ産業、畜産業、稲作などの基幹産業に大きな影響を及ぼすことが大変憂慮され、第1次産業への被害拡大を防ぐためには早急な初期予防対策を要するものと考えます。

よって、当市議会は、下記の事項について早急に取組まれるよう強く要請い

たします。

記

- 1、石垣島での「ツマジロクサヨトウ」の発生情報、防除方法を広く広報していただきたい。
- 2、関係機関と連携し、その防除策を調査研究・検証できる体制を早期に整えていただきたい

○提出先 農林水産大臣、沖縄県知事、石垣市長（要請決議）

（結果） 全会一致で可決

### 義務教育国庫負担金の堅持・拡充に関する意見書

提出者 井上 美智子

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準の維持向上を図る制度として完全に定着しており、現行教育制度の重要な根幹をなしています。

しかしながら、政府は、昭和60年度以降、義務教育費国庫負担制度の見直しを行い、これまで旅費、教材費、恩給費、共済費、公務災害補償基金、退職手当及び児童手当等義務教育に係る経